

---

## 胡瓜の育種—久留米夏節成の品種生態

熊沢三郎・秋谷良三・藤枝国光

(九州農業試験場)

生態育種によつて育成固定した，久留米夏節成は枝条強剛で耐暑性強く，品質も脆弱で優れ，且つ高温，長日季によく節成性を示す。昭和 30 年，久留米夏節成を久留米落合 1 号，四葉を対照品種として長日，短日（8 時間日長）下に周年栽培して，品種生態を明らかにした。久留米夏節成は高温期には旺盛な生育を示し葉は広大で厚く，枝条強剛で分枝数も多いが，低温期には生長緩慢で開花も遅れた。短日処理は概して栄

養生長を抑制し草丈，分枝数では長日区に劣る。結果習性は頗る安定しており，雌花率は温度，日長で影響されること少く周年高い節成性を示した。果実は高温下でよく伸長し果形整い，低温には果梗短く肩流れをむじ易い。本種は生態的にみて夏胡瓜型で，鈍感な強節成性と強健な草勢を具備するので，各種の育種素材として有望である。

---